

甲斐市立玉幡小学校 令和4年度 学校だより 第10号



チーム玉幡

令和4年10月26日 文責：小林 正彦

昔の人は「天高く馬肥ゆる秋」と言い、秋の食物の豊かさと季節の美しさを賞揚し感謝の気持ちを表しました。子ども達の周りにも柿や栗、サツマイモや里芋が出回り、おいしい食べ物が見られる季節です。栗は、果実をつけるまでに植えてから3年間、柿は8年間以上もかかると言われています。それは、栗や柿は果実をつけるために木の幹や枝、葉に養分をつくり蓄積する必要があるからです。子ども達の成長で考えると、小学校は6年間、中学校では3年間、さらに高校・大学で勉学を続ける人もいますが、その間にたっぷり栄養（知識や経験）を蓄える期間です。毎日がんばっている勉強や運動、友達との交流は栄養となり、今後の「幸福という果実」に大いに役立ちます。



芸術の秋

秋はどのようなことでも集中できる時期であり、いろいろなことへの意欲が旺盛になる時期とも言われています。子ども達にとっても食欲や運動欲をはじめ、学習意欲が掻き立てられる時期でもあります。この時期は「芸術の秋」とも言われ、教養のある大人に育つために、芸術との関わりは重要になります。芸術について鑑賞する力や表現する力を育成するのによい時期です。

10月12日（水）には、「芸術鑑賞教室」が実施されました。感染症対策として、低学

年・高学年と2ブロックに分け、常時換気を行いながら体育館で鑑賞しました。今年度は、「いのちのまつり」という劇を、生で観ることができました。「劇団たんぽぽ」の方々に演じていただきましたが、身振り手振りをしながらの発声や、大がかりな舞台装置の演技に、どの子も食い入るように見ていました。このような機会を通して、芸術に対して興味や関心を持ち、豊かな感性が育ってほしいと思います。



スポーツの秋

「スポーツの秋」という言葉の通り、この時期は体を鍛えるのにとっても良い季節でもあります。10月21日（金）には「業間体育」が行われました。クラスごとに長縄を行いました。体育委員会がお手本を行い、全体を運営してくれました。初めての1年生には難しかったこともあったと思いますが、勇気を出して長縄に飛び込んでいました。



はじめは長縄を通り抜けることからチャレンジしました。慣れてきたところで、「8の字とび」を行いました。最後に、3分間の累積記録をとりました。高学年になると、リズよく跳べていてさすがだと感じました。



体育の授業

体育の授業の一場面を紹介します。4年生

が「障害走（ハードル走）」の授業を行っていました。子ども達が恐怖を感じ



ないように、低いハードルや手作りハードルを使用していました。また、自分が走った姿をその場で見ることができるよう、ICT機器を活用していました。自分が走った姿をすぐに見る



ことができるので、子どもたちは興味を持って自分の走りを振り返り、一生懸命練習していました。



陸上記録会

上記のような体育の授業を積み重ね、6年生になると、「陸上記録会」という行事があります。この行事は甲斐市内にある小学校11校が、小瀬のJITリサイクルインクスタジアムに集まり、運動を通して親睦を図ることをねらい実施されています。子どもたち一人一人にとっては、陸上競技の練習に取り組み、自らの記録向上を目指し、練習の成果を発表する場となっています。

玉幡小では、10月4日から練習に取り組んでいました。朝のアップに始まり、体育の時間や放課後練習していました。放課後には、全職員で練習に協力してきました。

また、13日（木）の放課後には、玉幡中学校の生徒が来て指導してくれました。一生懸命練習する姿勢と共に、礼儀正しい姿勢はさすが玉幡小学校の最上級生と感心しました。



陸上記録会は、10月18日（火）に行われました。天候が少し心配されましたが、暑くもなく、子ども達は競技しやすかったと思います。緊張感の中で、練習の成果を発揮しようがんばっていました。コロナ禍においての実施なので、保護者の皆様には観覧にあたりご協力をお願いしました。ありがとうございました。



読書の秋

10月24日（月）から11月11日（金）までは、本校の読書週間になっています。24日と25日は、学校職員と図書委員会の子ども達が、各クラスで読み聞かせを行いました。図書委員会の子ども達は、大型絵本を使っての読み聞かせをしてくれました。また、『ビンゴ』を使っての取組も行われています。（ビンゴになったら「チケット」や「しおり」がもらえる取組）読書は、思考力や判断力を養う上でも重要だと言われています。この機会に、子ども達が読書の楽しさに触れることを願っています。



